



2004
平成16年
11月号

きょうたんご

vol.8

相次ぐ大型台風の襲来は、京丹後市にも甚大な被害をもたらしました。被災されましたみなさんに、心からお見舞い申し上げますとともに、市としましても市民のみなさんとともに、復旧に全力を挙げて取り組んでまいります。

被災状況および復旧対応については、次号で詳しく掲載いたします。

なお、被災・復旧への対応については、必要の都度、速やかにお知らせするとともに、不明な点などがありましたら、いつでも市役所・各市民局へご連絡ください。

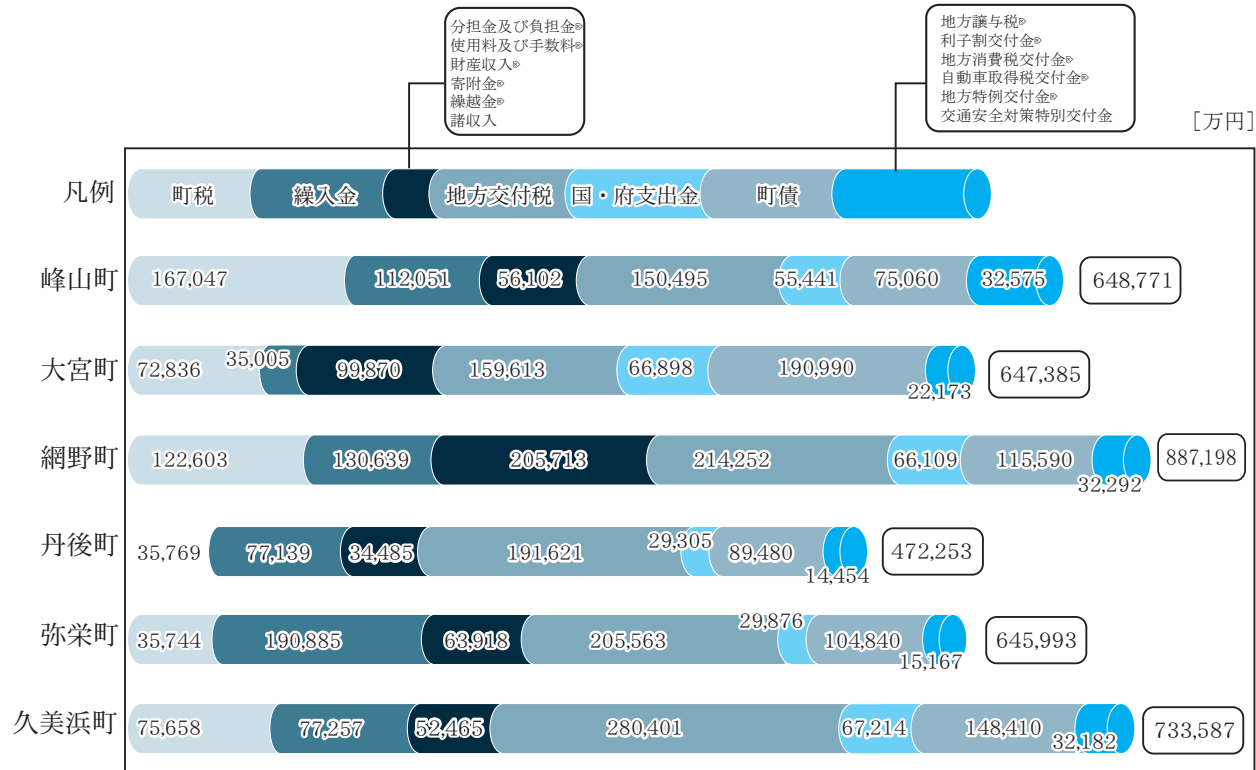


主な内容

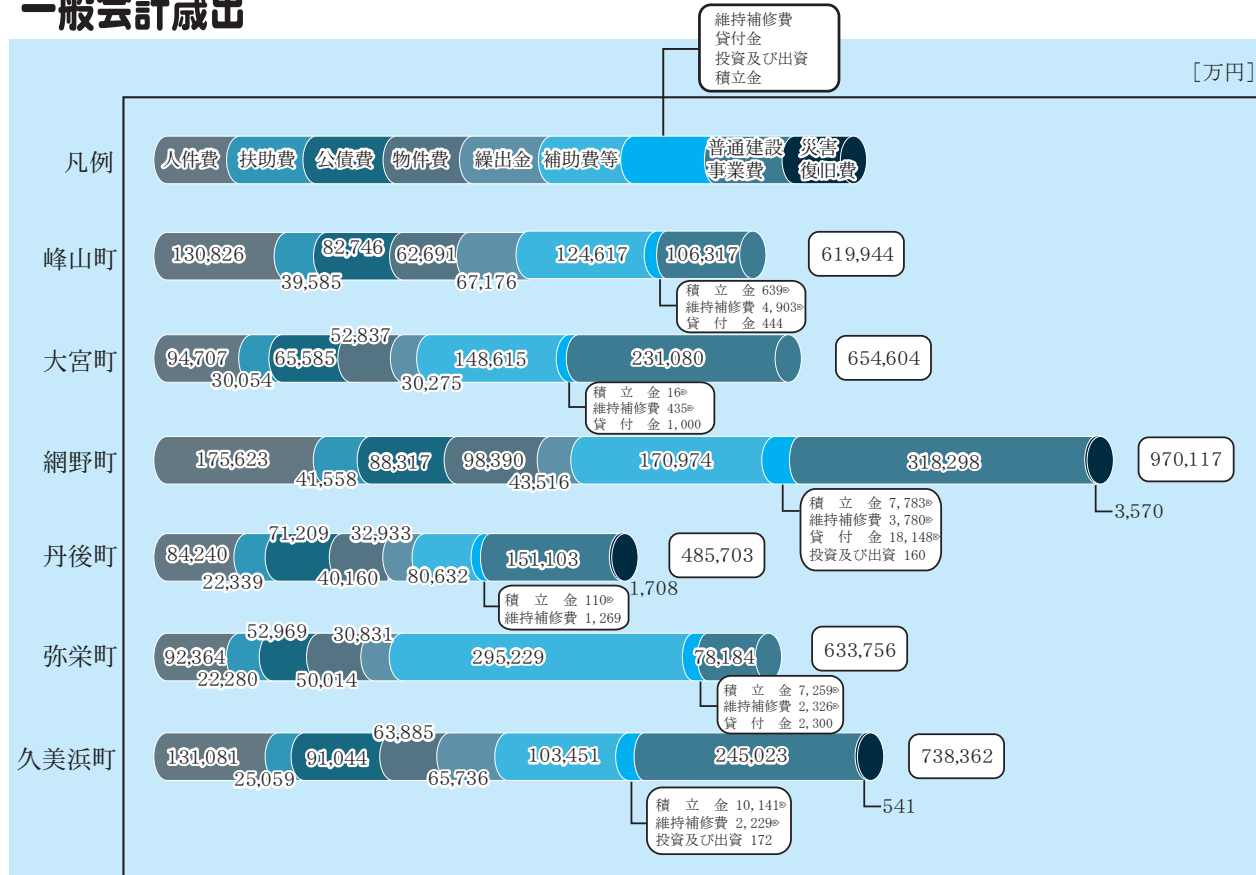
- ◆平成15年度決算
- ◆ウルトラマラソン
- ◆総合計画審議会・地域振興協議会 始動

河梨峠崩落現場(久美浜町)

一般会計歳入



一般会計歳出



平成15年度 決算

一般会計

合併前の6町の平成15年度決算を、9月定例議会に提案し、5町分が認定され、残りの1町は次回の議会において審議されることになりました。

平成15年度は、合併により3月末での打ち切り決算となり、昨年とは単純に比較することができなくなっています。

歳入においては、打ち切り決算となったことから、各町とも町税の収入などに影響があったほか、歳出においては、合併への準備経費、国営丹後土地改良事業の繰上償還などに対応するため、基金繰入金が前年度と比べ大幅な増加となっています。歳出について、各町の主な内容をご紹介します。

大宮町

- ▽丹後土地改良事業の償還金 七億二千九百六十六万円
- ▽子育て対策として五保育所を統合した大宮南保育所の整備 十一億三千六百七十四万円
- ▽耐震補強等のための大宮第一小学校大規模改修 四億七千九十九万円
- ▽合併に伴う庁舎改修事業 一億六百十六万円
- ▽戸籍・障害者・介護保険の電算化 四千七百三十九万円
- ▽中学生を中国に派遣する平成の遣唐使事業 百七十二万円

峰山町

- ▽丹後土地改良事業の償還金 四億九千九十一万円
- ▽高齢者生きがい施設(屋根付きゲートボール場)の整備 一億四百五十四万円
- ▽新山小学校の校舎増築 六千七百二十万円
- ▽合併に伴う庁舎改修事業 六千六百二十八万円
- ▽最終整備となる峰山総合公園整備 五千四百五十五万円

丹後町

- ▽丹後土地改良事業の償還金 二億九千七百七十五万円
- ▽特別養護老人ホーム「いちがお園」の介護体制充実にかかる整備・グループホーム建設の助成 二億二千万円
- ▽多目的集会所施設(岡成地区小泊・向地区・平地区)の整備 九千七百七十二万円
- ▽パイプハウス整備への助成 五千四百四十五万円
- ▽成願寺地区女性・若者等活動促進施設の整備 四千九百八十三万円

網野町

- ▽丹後土地改良事業の償還金 八億二千九百三十七万円
- ▽合併のために代表町として実施した公共ネットワークの整備 十六億三千八百三十万円
- ▽合併のために代表町として実施した行政情報機器等の整備 三億六千九百五十九万円
- ▽社会参加交流ハウスの整備 七千三百三十万円
- ▽若者定住および住宅福祉の向上のための町営住宅御陵団地の整備 三千二百六十五万円

久美浜町

- ▽丹後土地改良事業の償還金 二億二千九百五十二万円
- ▽子育て対策として三保育所を統合したこうりゆう保育所の整備 四億六千五百三十四万円
- ▽最終処分場(三原峠)の整備 三億円
- ▽し尿投入施設の整備 二億三千九百九十万円
- ▽旧庁舎と隣接する京都丹後農業協同組合久美浜支店を庁舎施設などとして購入 二億八千二百九十八万円
- ▽谷工業団地の敷地整備および関連基盤整備 七千五百十七万円

弥栄町

- ▽丹後土地改良事業の償還金 十八億二千二百二十七万円
- ▽合併に伴う情報機器等整備負担金 一億四千四百二十六万円
- ▽和田野区・中津田中集会所施設の整備 一億二千二百十二万円
- ▽黒部区・鳥取区・木橋区の集会所改修補助 五千九百九十九万円
- ▽エコエネルギー実証研究施設用地の購入費 三千六百万円
- ▽吉沢消防車庫の整備費 六百七十万円

会計名称	歳入	歳出	収支差引		
一般会計	47億2,253万円	48億5,703万円	△1億3,450万円		
特別会計	国民健康保険	5億8,555万円	6億3,561万円	△ 5,006万円	
	直営診療施設	2億7,359万円	2億8,388万円	△ 1,029万円	
	老人保健	8億1,261万円	8億1,387万円	△ 126万円	
	介護保険	4億7,329万円	4億2,624万円	4,705万円	
	簡易水道	3億3,893万円	3億6,277万円	△ 2,384万円	
	下水道	4億9,795万円	4億9,533万円	262万円	
企業会計	土地取得	1億9,089万円	1億9,089万円	0万円	
	水道事業	収益的	8,200万円	7,997万円	203万円
		資本的	7,512万円	1億3,222万円	△ 5,710万円

丹後町

会計名称	歳入	歳出	収支差引		
一般会計	64億5,993万円	63億3,756万円	1億2,237万円		
特別会計	国民健康保険	4億8,241万円	5億 730万円	△ 2,489万円	
	直営診療施設	1,067万円	1,334万円	△ 267万円	
	老人保健	6億6,935万円	6億4,533万円	2,402万円	
	老人保健施設	3億9,691万円	4億7,661万円	△ 7,970万円	
	介護保険	3億3,310万円	2億8,064万円	5,246万円	
	簡易水道下水道	6億2,099万円	6億3,427万円	△ 1,328万円	
企業会計	弥栄病院事業	収益的	37億8,248万円	38億4,884万円	△ 6,636万円
		資本的	1億3,956万円	2億6,413万円	△1億2,457万円

弥栄町

会計名称	歳入	歳出	収支差引		
一般会計	73億3,587万円	73億8,362万円	△ 4,775万円		
特別会計	国民健康保険	9億7,439万円	9億7,309万円	130万円	
	老人保健	14億4,494万円	14億1,004万円	3,490万円	
	介護保険	7億9,131万円	6億8,920万円	1億 211万円	
	簡易水道	7億5,253万円	6億7,385万円	7,868万円	
	下水道	9億3,670万円	9億2,636万円	1,034万円	
	農業集落排水	2,800万円	2,831万円	△ 31万円	
	特別地域生活排水処理	3,676万円	5,011万円	△ 1,335万円	
	宅地造成	6,756万円	1,371万円	5,385万円	
企業会計	久美浜病院事業	収益的	22億3,678万円	25億3,759万円	△3億 81万円
		資本的	1億2,379万円	1億9,539万円	△ 7,160万円

久美浜町

一部事務組合

会計名称	歳入	歳出	収支差引
丹後広域消防組合一般会計	9億1,265万円	9億 153万円	1,112万円
峰山・大宮公共下水道組合一般会計	20億8,474万円	20億4,016万円	4,458万円
竹野郡塵芥処理組合一般会計	1億1,600万円	9,033万円	2,567万円
竹野川環境衛生組合一般会計	6億5,075万円	5億9,350万円	5,725万円
奥丹後養老施設組合一般会計	2億 899万円	2億 252万円	647万円
奥丹後養老施設組合居宅介護支援通所介護事業会計	2,637万円	2,610万円	27万円

平成15年度 決算の状況

企業会計を除く各会計については、合併に伴う3月末での打ち切り決算となったため、収支差引がマイナスとなる場合があるとともに、単純に前年度と比較することは困難となっています。

会計名称	歳入	歳出	収支差引		
一般会計	64億8,771万円	61億9,944万円	2億8,827万円		
特別会計	国民健康保険	11億 998万円	10億5,491万円	5,507万円	
	老人保健	12億1,147万円	11億9,616万円	1,531万円	
	介護保険	6億2,205万円	5億5,707万円	6,498万円	
	小規模水道	82万円	67万円	15万円	
	廃棄物広域処理	6億9,207万円	6億2,170万円	7,037万円	
	工業用地造成	1億3,219万円	1億1,899万円	1,320万円	
	宅地造成	1億3,144万円	8,736万円	4,408万円	
	峰山財産区	813万円	23万円	790万円	
	五箇財産区	281万円	8万円	273万円	
企業会計	水道事業	収益的	2億7,805万円	2億5,772万円	2,033万円
		資本的	742万円	8,840万円	△ 8,098万円

峰山町

会計名称	歳入	歳出	収支差引		
一般会計	64億7,385万円	65億4,604万円	△ 7,219万円		
特別会計	国民健康保険	8億8,470万円	8億7,903万円	567万円	
	直営診療施設	1億8,832万円	1億8,651万円	181万円	
	老人保健	8億9,814万円	8億7,970万円	1,844万円	
	介護保険	5億2,661万円	4億9,280万円	3,381万円	
	簡易水道	4億 740万円	4億2,132万円	△ 1,392万円	
	農業集落排水	2,218万円	2,204万円	14万円	
	企業会計	水道事業	収益的	1億6,369万円	1億4,091万円
資本的			1,125万円	8,979万円	△ 7,854万円

大宮町

会計名称	歳入	歳出	収支差引		
一般会計	88億7,198万円	97億 117万円	△8億2,919万円		
特別会計	国民健康保険	14億7,245万円	15億2,447万円	△ 5,202万円	
	老人保健	17億8,558万円	17億1,879万円	6,679万円	
	介護保険	7億1,340万円	6億6,063万円	5,277万円	
	簡易水道	1億1,804万円	1億1,443万円	361万円	
	下水道	3億1,066万円	3億 460万円	606万円	
企業会計	水道事業	収益的	1億7,790万円	1億6,390万円	1,400万円
		資本的	4,090万円	1億2,050万円	△ 7,960万円

網走町

2004歴史街道丹後100kmウルトラマラソン

秋の丹後路を快走 激走



100kmスタート アミティ丹後(網野町網野)



60kmスタート 浜公園(久美浜町)

一〇〇kmと六〇kmのコースを走破する「二〇〇四歴史街道丹後一〇〇kmウルトラマラソン」(同実行委員会主催)を、九月十九日に開催し、全国から参加した千三十四人のランナーが秋の丹後路で健脚を競いました。本大会は、平成十一年度に、日本の歴史文化のすばらしさを広く紹介する「歴史街道整備プラン」のモデル地区として、歴史街道推進協議会から合併前の四町(網野町・弥栄町・丹後町・久美浜町)が「丹後王国まほろば海道」として指定されたことを記念し、平成十三年から毎年開催。本年からは、京丹後市をあげての一大イベントとして、多くのボランティアに協力いただき、「喜び」と「感動」を実感できる大会とすることができました。



エイドステーション・レストステーション(休憩所)では、ボランティアが食べ物や飲み物を用意し、温かい気持ちでランナーを迎え入れました

野町網野)を午前四時三十分スタートし、久美浜町・網野町・弥栄町・丹後町を経て網野町にゴールする一〇〇kmコースと、浜公園(久美浜町)を九時三十分スタートし、網野町・弥栄町・丹後町を経て網野町にゴールする六〇kmコースの二コース。六〇kmの開会式では、中山市長が「風光明媚なコースですが、起伏の激しい過酷なコースでもあり挑戦のし甲斐があります。自分自身と戦っていたら、存分にレースを楽しんでください」とあいさつ。また、ゲストランナーでタレントのそのまんま東さんが「美しいコースと聞き、とても楽しみにしています。一緒に楽しみましょう」と、ランナーを激励されました。



ゲストランナーのそのまんま東さん(中央)は、沿道からの応援一人ひとりに手をあげ「ありがとうございます」と笑顔でこたえ、さっそうと駆け抜けられました

高校生、また心に残る大会づくりを目指して、自ら集まった多くのボランティアが大会を運営。交通整理や休憩所などのさまざまな場面で大会を支え、ランナーを勇気づけるとともに、「市民が一体となって築き上げる」すばらしさを体感しました。ランナーからは「ありがとう」、「苦勞さま」と声をかけられるなど、参加した誰もが温かい気持ちで大会が進みました。



中学生を含むボランティアが、ランナーの疲労回復をサポート(元氣ステーション)

天高く

丹後の秋

満喫

丹後天橋立ツアーマーチ



二日間にわたって丹後の秋を満喫する「丹後天橋立ツアーマーチ」が、九月二十五日と二十六日の二日間にわたって開催され、全国から訪れた延べ千九百九十四人のウォーカーが、さわやかな汗を流しました。

「ツアーマーチ」は、豊かな自然と歴史ロマンにあふれる「丹後」を全国にPRするとともに、歩くことによって心と身体健康づくりを図ることを目的に、丹後地区広域市町村圏事務組合・社団法人日本ウォーキング協会・京都府ウォーキング協会の共催により平成四年から毎年開催。第十回までは、宮津市の天橋立一帯で行い、第十一回からは京丹後市域で開催しています。

「風と海、歴史とロマン」を歩けば楽し丹後の路」を大会テーマに、初日の二十五日には、網野町多目的広場(網野町網野)を発着点に、静御前コース(十km)、絶景五色浜コース(二十km)、かぶと山散策コース(四

十km)の三コースに五百九十三人が参加。風光明媚な海岸線や、久美浜湾や小天橋などが一望できる「かぶと山公園」、静御前をまつる「静神社」などを眺めながら、思い思いのペースで、心地よい汗を流しました。

また、二十六日には、四十km・二十km・十五km・五kmの四コースに六百一人が参加し、日本海からの潮風に吹かれながら、美しい景観に触れ心身ともにリフレッシュするとともに、仲間とのふれあいを深めました。

25日には、丹後七姫の一人・静御前にゆかりのある「静神社」において、参加者約180人が「水仙」の球根800株を植栽。これは、丹後広域観光光キャンペーン協議会(舞鶴市以北の3市4町が加盟)の花いっぱい運動の一環として実施したもので、地元磯地区の協力のもとに行われました。参加者は「いい記念になります」と笑顔で話されていました。



京丹後市長杯争奪中学校野球大会

京丹後市発足後初めての「京丹後市長杯争奪中学校野球大会」を、九月十八日と二十六日の二日間、峰山球場(峰山町荒山)と峰山中学校(同)を会場に開催し、市内の全九中学校が白熱した試合を展開しました。本大会は、市教育委員会と中学校野球連盟の主催で、野球を通して中学生の健全育成と、競技力の向上を目指して開催。



力強い選手宣誓を行った 間人中学校 蒲田亮輔主将

十八日に峰山球場で行った開会式では、中山市長が「みなさんには、限らない可能性があります。プレーできることに感謝しながら、厳しい練習を乗り越えてきた成果を、自信をもって思い切つて発揮してください」

試合は、トーナメント制で行われ、一投一打に保護者やチームメイトから大きな声援が贈られる中、礼儀正しくきびきびとした態度で熱い戦いが繰り広げられ、さわやかな汗を流すとともに、交流を深めました。

はつあつプレー



フェアプレー

0	0	1	0	0	0	0
3	0	2	0	5	7	7
4	0	0	0	0	0	0
間人中学校	宇川中学校	網野中学校	高龍中学校	久美浜中学校	橘中学校	峰山中学校
						弥栄中学校
						大宮中学校

市民のみなさんとの協働による まちづくりの推進に 地域振興協議会 発足

委員のみなさん

(◎は会長)

網野町地域振興協議会 (敬称略・順不同)

氏名	住所
安達 功	網野町網野
安達 昇平	網野町島津
阿部 智子	網野町掛津
上田 郁子	網野町網野
梅田 和男	網野町網野
岡田 憲和	網野町網野
沖田真奈美	網野町浜詰
河田 和代	網野町網野
西途 陽子	網野町浜詰
関 有子	網野町島津
◎高野 叔和	網野町郷
田茂井恵子	網野町浅茂川
野村 純子	網野町網野
濱岡 均	網野町浅茂川
松尾 省二	網野町掛津
松本 豊明	網野町浜詰
三木 静	網野町木津
山崎 敏宏	網野町網野

大宮町地域振興協議会 (敬称略・順不同)

氏名	住所
荒田 ケイ	大宮町口大野
石河 武	大宮町善王寺
糸井 徳政	大宮町三重
◎大木 満和	大宮町下常吉
尾崎 博子	大宮町河辺
小谷 洋子	大宮町三重
隅倉さえ子	大宮町奥大野
高杉 和男	大宮町善王寺
高橋 茂	大宮町延利
瀧野八重子	大宮町河辺
伊達美砂子	大宮町口大野
中川 富夫	大宮町周枳
野木 三司	大宮町口大野
野村 拓司	大宮町奥大野
養父 秀是	大宮町周枳
山本 和美	大宮町河辺
吉岡 伸子	大宮町周枳
由村 愛子	大宮町延利

峰山町地域振興協議会 (敬称略・順不同)

氏名	住所
足立 宏子	峰山町安
井上 尚子	峰山町上
今村 順子	峰山町橋木
岡田佐代子	峰山町杉谷
小長谷美恵子	峰山町赤坂
木下讓太郎	峰山町堺
小松 慶三	峰山町杉谷
五宝 英一	峰山町赤坂
◎高田 一	峰山町泉
田中 定之	峰山町橋木
土田 正美	峰山町杉谷
徳田 礼子	峰山町鱒留
中野 正五	峰山町四軒
平井 良行	峰山町堺
平井 涉	峰山町丹波
森 米子	峰山町杉谷
森谷 子ヨ	峰山町丹波
吉村 緑	峰山町浪花

旧六町単位で設置し、住民のみなさんとの協働によるまちづくりを進めるため、地域の振興施策について提言をいただく「地域振興協議会」の第一回会議を、十月十三日に峰山総合福祉センター（峰山町杉谷）で開催しました。

合併特例法で設置が認められている「地域審議会」は、設置期間が限定され、また市長の諮問に依りて審議を行うと定められています。京丹後市の発足に伴う合併協議会において、期限を設けず、地域のまちづくりや教育などについて各町ごとに自

由に協議、提言を行っていただく「地域振興協議会」の設置を確認しました。委員は、各協議会十八人の計百八人で、女性のかたの視点も施策に反映できるように、男女同数で構成されています。

今後は、協議会ごとに会議を開き、地域の課題やまちづくり活動の推進、地域振興について協議し、特色ある教育振興施策の提言を行っていただきます。

久美浜町地域振興協議会 (敬称略・順不同)

氏名	住所
板垣 久彌	久美浜町湊宮
大森 一尚	久美浜町十楽
小国 猛	久美浜町女布
◎川戸 忍	久美浜町布袋野
川淵 明美	久美浜町湊宮
岸本 英子	久美浜町大向
小森 明美	久美浜町橋爪
小森 哲朗	久美浜町橋爪
小森真由美	久美浜町新町
瀬崎 久男	久美浜町神崎
瀬戸 恭敬	久美浜町市野々
中嶋 真弓	久美浜町栢谷
中村 洋子	久美浜町野中
沼倉 恵子	久美浜町新町
萬家 君子	久美浜町新庄
宮田 恵夫	久美浜町厨ヶ畑
山田 武彦	久美浜町柴町
山根美佐子	久美浜町甲山

弥栄町地域振興協議会 (敬称略・順不同)

氏名	住所
◎植野 芳章	弥栄町和田野
梅田 てる	弥栄町吉沢
垣中 和子	弥栄町黒部
金盛テル子	弥栄町和田野
神村 直樹	弥栄町溝谷
岸田 達夫	弥栄町堤
近藤三代志	弥栄町黒部
坪倉 伴子	弥栄町芋野
羽賀 義昌	弥栄町野中
平井 宮子	弥栄町溝谷
平田 節子	弥栄町和田野
平林 洋子	弥栄町井辺
藤村 芳弘	弥栄町吉沢
藤原 雅子	弥栄町木橋
松梨 秀昭	弥栄町鳥取
松村 和美	弥栄町溝谷
行待 佳平	弥栄町溝谷
吉岡 豊和	弥栄町木橋

丹後町地域振興協議会 (敬称略・順不同)

氏名	住所
相見 裕孝	丹後町間人
宇都 弘子	丹後町間人
川戸 和子	丹後町此代
森原 節子	丹後町上山
志村 朝雄	丹後町間人
下岡久美子	丹後町間人
田中 郁代	丹後町間人
給田 幸男	丹後町大山
戸石 育代	丹後町間人
中江 伸子	丹後町間人
中江 平治	丹後町間人
中江 雄三	丹後町間人
増田 節郎	丹後町平
森口 茂樹	丹後町間人
山口 洋子	丹後町袖志
◎吉岡 和信	丹後町砂方
義村 一子	丹後町矢畑
米田 文夫	丹後町中浜

市のまちづくりの指針 総合計画の策定へ

総合計画審議会 始動



京丹後市のまちづくりの指針となる「総合計画」の策定にあたり、市民のみなさんから幅広い意見を聞かせていただくこと、公募による委員三人を含む「総合計画審議会」を組織し、十月八日に第一回会議を開催しました。

総合計画は、市町村がその地域全体の総合的に効率的な

さまざまな角度から、
将来の展望を検討する委員

行財政の運営を図るための基となるもので、将来の京丹後市の姿、またその実現に向けた施策や進め方を示すものです。

同審議会は、市内外の委員三十人で構成し、広域的な意見や助言をいただくこと、宮津市出身の尾上規喜フジテレビジョン取締役副会長、弥栄町出身の田家邦明日本中央競馬会理事、岩滝町出身の広野道子経営コンサルタントトニーLADY社長（洋菓子店のヒロタ社長、「丹後王国論」で知られる京都府立大学の門脇禎二名誉教授を顧問として選任。また、会長に丹後町出身の藤原菊男島

津製作所相談役（前・京都工業会長）、副会長に錦織隆さん（弥栄町溝谷）を選出しました。

審議会は、「産業・雇用創出」、「環境・循環型社会構築」、「健康・福祉・医療充実」、「子育て・教育・文化スポーツ振興」、「市民活動・共同参加推進」、「快適空間創造」の六つの専門部会を設け、合併協議の中で策定された「新市建設計画」を基に審議。また、旧町単位で設置する「地域振興協議会」や市民のみなさんの意見を集約して、今後十年間の総合計画の「基本構想」を策定し、来年二月に市長に答申を行い、三月定例会議に提案する予定です。

（基本計画は、来年度に策定する予定です）

総合計画とは

総合計画は、市町村が必ずつくりなければならない「地方自治法」で定められているもので、市町村の最上位計画に位置づけられ、いわば「まちづくりの道しるべ」ともいえる行財政運営の長期的な指針です。

総合計画の構成

総合計画は、「基本構想」、「基本計画」、「実施計画」の三層構造で構成されています。

基本構想

今後の概ね十年間で、京丹後市が目指す将来の姿とまちづくりの最高理念で、基本計画の基礎となるものです。

基本計画

基本構想で掲げた内容を実現するために、基本方向を分野別に示し、実施計画の基礎となるもので、社会情勢

の変化に伴い、必要に応じて五年を目途に見直しを行います。

実施計画

具体的な事業を示す三年間の計画で、施策の優先度や緊急度を勘案しながら毎年見直しを行います。

メダルを胸に母校を訪問



8月15日には、井上謙二さんと伊調千春さんが、母校の網野高等学校を訪れ、メダル獲得の報告と、温かい応援へのお礼を述べるとともに、在校生へ熱いメッセージを贈りました。

井上さんは「みなさんの可能性は、決してゼロではありません。自分を信じて、目標や夢に向かいがんばってください。さまざまなかたからのアドバイスに耳を傾け、自分の可能性を信じて、チャンスを逃さないでください」と激励。

また、伊調さんは「試合が終わり、自分から『ありがとう』とお礼を言うつもりでしたが、みなさんから『感動をありがとう』と言っただき、自分は一人で戦っていたのではなかったとうれしく感じました。網野高等学校のみなさんからも温かい応援をいただき、お礼申し上げます。北京大会の出場を目指しがんばりますので、引き続き応援をお願いします」と高校時代の思い出やオリンピックでの試合の様子を交えながら話されました。

祝賀会



アミティ丹後での「祝賀パーティー」には、約300人が集い盛大に祝福。3選手を囲んで和やかに懇談しました。



3選手は、パレード出発前に中山市長に大会を終えた気持ちや今後の抱負を話され、中山市長は「感謝と誇りと勇気をいただきました。原点を忘れず今後もがんばってください」と祝福と感謝、ねぎらいの言葉を贈りました。

状を贈呈。また、今西市体育協会会長からも「京丹後市体育協会特別栄誉賞」が贈られました。三人は、盛大な祝賀式と、温かい応援へのお礼を述べるとともに、さらなる活躍を誓いました。

三選手の活躍を祝福



井上謙二さん

アテネオリンピック
レスリング男子フリースタイル60kg級

銅メダル



伊調千春さん

アテネオリンピック
レスリング女子48kg級

銀メダル



寒川 進さん

アテネパラリンピック
車いす男子4×400mリレー

銅メダル

今夏にギリシャのアテネで開かれたオリンピック・パラリンピックで見事にメダルを獲得された、府立網野高等学校出身の井上謙二さん、伊調（いちよう）千春さん、寒川（かんがわ）進さんの功績を讃え、10月16日にアミティ丹後（網野町網野）周辺で祝賀行事を行い、3選手の偉業を祝福しました。

祝賀式

パレードに続き、網野体育センター多目的広場で行った「祝賀式」には約二千人の市民が集いお祝い。



スポーツ特別栄誉賞を贈呈

午後四時に三選手が乗ったオープンカーは、網野警察署近くから網野体育センター多目的広場までの約一キロを、網野高等学校吹奏学部を先導にゆつくりとパレード。沿道を埋め尽くした約三千人の市民から「おめでとう」、「よくやった」と歓声が上がる中、三選手は首から下げたメダルを見せるなど、笑顔で手を振りながら、温かい出迎えにこたえられました。

祝賀パレード



潮の香薫るコースを さわやかに快走

あみの八丁浜ロードレース大会



絶好のコンディションの中を快走

抜けるような秋空の下、恒例の「あみの八丁浜ロードレース大会」（同実行委員会主催）が、網野北小学校（網野町浅茂川）をスタート・ゴールに開かれ、自慢の健脚を競いしました。同大会は、網野町浅茂川出身で、第一回アジア大会（昭和二十六年）の一万メートルで優勝された田茂井宗一さんと、同じく浅茂川出身でアトランタオリンピック（平成八年）の五千メートルにおいて、当時の日本新記録で四位に入賞された志水見千子さんの功績を讃え開催しているもので、今年で七回目を迎えました。



ゲストランナーの田茂井宗一さん（右）と寒川進さん（左）

今年の大会には、三キロ・五キロ・十キロと昨年から加わったハーフマラソンの四部門に五百八十六人が出場。選手たちは、絶好のコンディションの中、すがすがしい浜風を受けながら力走し、沿道からは大きな声援が贈られました。

クリーンな循環型社会を目指す「NPO法人（非営利活動法人）丹後の自然を守る会」の京丹後支部（吉田真也代表・十五人）のみなが、廃食油の再生活用の一環として菜の花から摂油をしようと、十月十七日に、丹後あじわいの郷（弥栄町鳥取）のあじわい橋周辺で、菜の花の種植えを行いました。

この日は、メンバーのほか親子連れなど約四十人が参加。長雨の影響で、残念ながら畑での種植えはできなかったものの、プランターに楽しみながら植え込みました。同支部は、「丹後の自然を守る会」から独立する形で、「NPO法人エコネット丹後」設立に向けて京都府に認証を申請中。吉田さんは「地域でできるものを地域で使うという、目に見える形でのリサイクルの魅力を感じます。身近で無理のない活動を行っていますので、興味のあるかたは一緒に楽しみながら活動しましょう」と目を輝かせて話されています。

とまるとからにはいよう

資源循環型の社会を目指す

丹後の自然を守る会 京丹後支部
（代表 吉田真也さん ☎65-2906）



楽しみながら、身近なことから始めようと、すがすがしい汗を流しました

小野小町終えんの地で

和歌の魅力を楽しむ

小町ろまん全国短歌大会

「京丹後市小町ろまん全国短歌大会」を九月十九日に、京都府丹後文化会館（峰山町杉谷）で開催し、全国の愛好者約五百十人が和歌の魅力を楽しみました。

本大会は、平成八年の旧大宮町の町制四十五周年を記念し、第一回大会を開催。その後、町制五十周年（平成十三年）の第二回大会以降は毎年行い、五回目を迎えた今回は、NHK学園と共催により「NHK学園生涯学習フェスティバル」として開催しました。

今大会には、全国の千四百七十六人から二千九百十八首が寄せられ、大会大賞には植村ゆかりさん（鳥取県米子市）村ゆかりさん（鳥取県米子市）など三人が受賞。京丹後市からは、永島富士子さん（丹後町徳光）と高山千素さん（網野町下岡）の二人が秀作代表として入賞されました。

また、選者の沖ななもさんと河野鈴子さんが「愛のかたち」と題して対談されるなど、来場者は三十一文字（みそひともし）という短い言葉に込められた情感をたん能しました。

大会大賞

自転車に来る少年を操るか天蚕糸のような細き雨降る

植村ゆかり（鳥取県米子市）

大会大賞

本籍はこの水底にまだあると古い咳けり釣糸見つ

小島 百代（群馬県桐生市）

大会大賞

大和より唐に渡りしあぢさるを紫陽花とよび愛でし白居易

林 ひろみ（東京都渋谷区）

京丹後市長賞

堀ごしにけやきの芽吹き愛でる声ほのぼのと聞く春巡り来て

羽生由紀子（愛知県名古屋市長賞）

京丹後市教育長賞

孵る蝌蚪今生き生きと生き物の姿になりて吾が田賑はふ

碓 光文（石川県鹿島郡）

NHK京都放送局長賞

病むわれは魔法使ひの婆のごと点滴器具を杖にし歩く

山本ふじ子（東京都江戸川区）

京都府知事賞

井戸の神に供へし餅を引きずりて鴉たくみに裏返し食ふ

石原 稜子（千葉県館山市）

京都府教育委員会教育長賞

明治生まれのなべてカナ書きの母の文 鉛筆紙めしか愛の字が濃き

若井田 陽（栃木県塩谷郡）

京都新聞社賞

鮎飯を口いっぱい頬張りて営業不振に子は涙する

古川 郁子（福岡県福岡市）

京丹後市大宮町短歌会長賞

春風をひきいる息子咳しつづつ長ときかけて車みがきぬ

加藤 貞子（茨城県水戸市）

秀作代表

下請けの生活夜更けの機械音 吾子は今夜も夜業なしおり

永島富士子（京丹後市）

秀作代表

素振りせる姿眼に溜め折りたたむ藍の香するき子の剣道着

高山 千素（京丹後市）

市民の目線で行財政改革

行財政改革推進委員会 発足

行財政改革を市民の目線で審議する「行財政改革推進委員会」の第一回会議を、十月七日に市役所会議室で開き、今後の協議の進め方などについて検討しました。

同委員会は、市長の諮問に依りて、行財政改革を進める指針となる「行財政改革大綱」と、大綱を具体的にする「推進計画」の策定について調査・審議して市長に対し答申。また、公共サービスにおける行政の役割や、市民・事業者・行政などの協働に関して、市民の立場に立った意見をいただきます。



委員のみなさんからは、十分な検討を行うため資料などの提供を早急に望まれるなど、積極的な意見が出されました。

委員会は、十五人（男性八人・女性七人）で構成され、この日は、委嘱書が手渡された後、大綱の策定のためのスケジューリングを確認。また、委員の互選により、会長に勝本宗繁さん（野田川町幾地）、副会長に増田至誠さん（久美浜町浦明）さんが選ばれる

ととともに、総務庁行政監察局長、総理府行政改革委員会事務局長などを歴任された、拓殖大学政経学部の田中一昭教授を顧問とすることが確認されました。

勝本会長は「市役所、行政体の役割は『市民

委員のみなさん

(敬称略・順不同)

会長	勝本 宗繁	野田川町幾地
副会長	増田 至誠	久美浜町浦明
委員	藤井美枝子	峰山町織元
委員	藤村 英子	峰山町内記
委員	田中 秀志	大宮町周枳
委員	安田 美晴	大宮町善王寺
委員	井上 博嗣	網野町島津
委員	奥野美智恵	網野町浅茂川
委員	田中 英一	網野町木津
委員	山崎 高雄	網野町浅茂川
委員	吉岡美紀子	丹後町久僧
委員	吉田 創	丹後町間人
委員	植野真知子	弥栄町和田野
委員	梅田あゆ子	弥栄町溝谷
委員	谷口 雅昭	久美浜町

近畿選層軟式野球大会

府内で初めての開催となる「第六回近畿選層軟式野球大会」(全日本選層軟式野球連盟主催)が、九月二十三日から二十五日までの三日間、峰山球場(峰山町荒山)など市内四か所を会場に開かれ、熟年選手がはつらつとしたプレーを繰り広げました。



選手を代表して選手宣誓

峰山シニアクラブ 嶋田勉主将(峰山町長岡)

年齢を感じさせないハッスルプレーで熱戦

本大会は、京丹後市の誕生を記念して招致されたもので、六十歳以上のメンバーで構成された京丹後市・宮津市・福知山市・舞鶴市の府北部の四チームを含め、五府県から二十二チームが参加。

二十三日に峰山球場で開かれた開会式では、各チームの旗を先頭に約五百五十人の選手が堂々の入場。同大会開催実行委員会長の藤山基一峰山

町商工会長が「京丹後市の誕生を内外にアピールするとともに、市民意識の高まりとおもてなしの心の育成、また市民のスポーツに対する関心を高め、スポーツの盛んなまちづくりを推進することを目的に招致しました。日ごろ鍛えられた技量を発揮されますことを期待しています」と歓迎と激励のあいさつを行いました。

その後、選手を代表して峰山シニアクラブの嶋田勉主将(峰山町長岡)が「正々堂々と元気よくプレーします」と宣誓し、さっそく四会場にわかれて試合開始。



優勝	西宮スーパースター(西宮市)
準優勝	伊丹マッスルズ(伊丹市)
第3位	京都シニアスターズ(京都市)
第4位	宇治オールディーズ(宇治市)

峰山球場での第一試合の始球式では、中山市長が三球勝負で挑み、試合前から大いに盛り上がるなど、各選手とも年齢を感じさせない好プレーの連続で観客を沸かせました。

ご長寿を祝い 敬老会

敬老の日（九月第三月曜日）を記念して、九月下旬から十月にかけて弥栄町、大宮町、峰山町で敬老会を開催し、長寿をお祝いしました。

十月十六日に大宮第一小学校体育館（大宮町周枳）で行った「平成十六年度大宮町敬老会」には、数え七十二歳以上（昭和八年十二月三十一日生まれ以前）の千八百二十七人を招待。式典では、中山市長が長寿のお祝いと永年にわたるご尽力への感謝を述べた後、数え七

十七歳を迎えられたかたなどに記念品を贈呈。また、昼食をはさみながら午後からは、河辺保育所の子どもたちによるかわいい踊りや、「小町かんたあびれ」のみなさんによるコーラス、「美月ユミ演歌歌謡ショー」、テレビでおなじみの「横山ホップラザーズ」のお笑いショーなどを次々と披露。招待者のみなさんは、笑顔の耐えない楽しい時間を過ごしました。



弥栄町敬老会



峰山町敬老会



大宮町敬老会

100歳以上のかたを表敬訪問

敬老の日を記念して、9月27日には「特別養護老人ホーム『おおみや苑』」（大宮町口大野）に入所されている100歳以上のかた4人を、中山市長と中村京都府丹後広域振興局長が表敬訪問し、記念品などを贈り健康と長寿をお祝いしました。

市内の今年100歳以上のかたは、40人（男性8人・女性32人）で、市と府では各町での敬老会や自宅を訪問し、全員のかたに記念品を贈呈。

この日は、市内の女性の最高齢者である岩佐かねさん（107歳）をはじめ、坪倉花枝さん（102歳）、柿本ヤスさん（101歳）、廣野ひでさん（100歳）を訪問し、長寿のお祝いの品を手渡しました。中山市長が一人ひとりに「いつまでも健やかに暮らしてください」と声をかけると、うれしそうに微笑んでおられました。



中山市長のお祝いの言葉に、笑顔でこたえておられました

起業へ第一歩

京丹後市起業家育成大学 開講

実践的な力を身につける」とをテーマに、ビジネスプラン作成実習や「シードと二アズの考え方・新規事業のアイデア」、「事業リスクとリスクマネージメント」、「マーケティングと販路開拓」など、民間出身の大学教授などによる講義を予定しています。

第一回は、「事業とは、起業とは、起業家精神とは」をテーマに開催。開講式の後、さっそく講義に入り、川北教授の民間企業での経験も交えた講義に、三十人を超す受講者は、メモを取るなど熱心に聞き入っていました。

また、終了後は、さっそく受講生から経営相談が寄せられるなど、受講生にとって起業や事業拡大に大いに役立つものとして期待されています。



起業家、事業拡大を目指し、熱心に聞き入っていました

名木「しわ榎」の保存を検討



二股にわかれた幹の一方が折れてしまった「しわ榎」

日本海側最大級の前方後円墳「銚子山古墳」の前方部の脇にある名木「しわ榎（えのき）」（網野町網野）の二股にわかれた幹の一方が、相次ぐ台風の影響で折れ、市では由緒ある大木の保存について検討を進めています。

「しわ榎」は、「丹後国風土記」に記載されている網野町に伝わる「浦島太郎伝説」の中で、水江浦嶋子（みずのえのうらしまのこ・浦島太郎）が、玉手箱を開け、顔中がし

わだらけになってしまい悲しみあまり、「しわ」をちぎって投げつけたため、樹皮が「しわ」で、でこぼこになったと伝えられ、合併前の網野町では、網野町ふるさと自慢百選にも指定されていました。

また、折れた幹は、条件が整えば「網野郷土資料館」（網野町木津）で保存・展示する方向で検討を進めるなど、由緒ある名木の保護・管理について方策を検討していきます。

ご協力をお願いします

赤い羽根 共同募金

10月1日～12月31日



赤い羽根募金（共同募金）のはじめ

戦後の混乱した社会状態の中にあっては、戦災者や引揚者、失業者など、助けを必要とする多くのかたがいました。

そのような中、昭和二十二年（一九四七年）の同時期に計画されていた、政府の提唱による「国民たすけあい運動」と、全日本民生委員連盟の「歳末同情運動」を、厚生省の調整により「共同募金」として一つにまとめ

「国民たすけあい共同募金運動」として行ったことが始まりで、六十年近くの歴史がある全国的な運動です。

また、現在の少子・高齢社会では、福祉の需要が増大し、多様化しています。人間性豊かな福祉社会を実現するためには、公的な施策とあいまって、市民のみなさん一人ひとりの身近な社会連帯に支えられた、活力ある福祉活動が不可欠です。募金活動を通じて地域住民のたすけあいの精神を普及するのが「共同募金」です。運動は、毎年十月一日から十二月三十一日までの三か月間にわたって全国一斉

共同募金は、各都道府県の「共同募金会」が主体となつて実施し、集まった寄付金は各都道府県内で使われる道が決まります。

つまり、みなさんからいただいた寄付金は、地域で生きる「募金」となります。

ふさこい踊りで 京丹後を ちりめんを PR

ちりめん丹後夢よさこい



息の合った華やかな踊りが来場者を魅了

市内外によさこい踊りチームが競演する「ちりめん丹後夢よさこい」が、「敬老の日」で祝日の九月二十日に、丹後あじわいの郷（弥栄町鳥取）で開かれ、晴天の下、多くの家族連れなどにぎわいました。

め、伊根町や加悦町、兵庫県豊岡市、大阪府守口市などから十八チームが参加。完成したばかりの「ウッドステージ」を舞台に、そろいの衣装で息の合った躍動感あふれる踊りが次々と披露されると、来場者から大きな拍手が贈られました。

この催しは、京都府商工会連合会と京都北部商工会女性部連絡協議会の主催により開かれ、よさこい踊りを通して、「ちりめん」のPRと地域の活性化につながるもので、今年で三回目を迎えました。

また、今回は、ちりめん素材に使った「丹後ちりめんよさこい衣装コンテスト」も開催。一次審査を通過した十名の試作品が、高校生などがモデルとなって披露され、ちりめんの美しさと機能性を秘めた、鮮やかな衣装が華を添えました。

おめでとうございます

地方教育行政功労者として 宮本 肇童さん（網野町掛津）

宮本肇童さん（網野町掛津）が、このたび文部科学大臣から教育行政の発展に尽くされた功績により、地方教育行政功労者として表彰されました。

社会教育においては、住民の要望が強かった図書館を平成十四年に新設したほか、健全児と障害児の交流体験事業「ユタッコ仲間」を開設。また、国の指定史跡である「銚子山古墳」の整備にも着目し、平成十五年には整備計画を策定するなど、教育行政の推進に多大な貢献をされ、これらの功績により受賞されました。



宮本 肇童さん

文部科学大臣表彰を受賞

生涯スポーツ功労者として 今西 仁さん（峰山町丹波）

今西仁さん（峰山町丹波）が、生涯スポーツの普及および発展へ多大な貢献をされたとして、文部科学大臣から生涯スポーツ功労者として表彰されました。

の初代会長に就任。丹後地方全体のスポーツ環境の向上を願い、陸上競技場や野球場など競技施設の整備・充実に尽力されるとともに、競技力向上へ先導的役割を果たされるなど、その顕著な功績が認められ、受賞されました。



今西 仁さん

また、平成五年四月から関西学生対校駅伝競走大会の後援会副会長、平成十六年四月からは新たに発足した京丹後市体育協会

丹後中央広域シルバー人材センター・竹野郡広域シルバー人材センター 統合

「丹後中央広域シルバー人材センター」と「竹野郡広域シルバー人材センター」が統合し、十月一日、新たに「社団法人 京丹後市シルバー人材センター」として発足しました。

法律（高齢者等の雇用の安定等に関する法律）により、一行政区に一センターが基本となっていることから、両センターは、平成十四年八月に第一回目の「統合調整協議会」を開催。これまでに、七回の協議会、また二十七回に及ぶ総務・業務のプロジェクトチームによる会議で、統合に関するさまざまな項目について検討・協議を重ねてきました。

契約金額二億九千六百十五万円（同四番目・平成十五年度決算）であり、府下でも大きな規模の組織として発足。また、「広域」同士での統合は、全国で初めてのことであり、今後の飛躍が期待されています。

また、大会では、事業計画や予算を承認。理事長に野村弘和さん（峰山町御旅）、副理事長に梅田耕之助さん（網野町浅茂川）など役員を選任するなど、出席者全員で新たな船出を祝いました。

社団法人 京丹後市シルバー人材センター
〒627-0111 京丹後市弥栄町溝谷3450番地
(弥栄庁舎内) (☎65-0052・FAX65-3285)

久美浜連絡事務所
〒629-3406 京丹後市久美浜町3137番地3
(久美浜福祉センター内) (☎・FAXとも82-1920)



多くの会員が参加して、統合を祝った「統合施行臨時総会」

「京丹後市シルバー人材センター」は、会員数千四十四人、受注件数五千三十九件（府下二十七のセンターの中で三番目・平成十五年度決算）、

十月一日に、京都府丹後文化学会館（峰山町杉谷）で行われた「統合施行臨時総会」では、野村弘和旧丹後中央広域シルバー人材センター理事長がこれまでの経過を報告するとともに「シルバー人材センターの果たす役割はますます重要なものとなっております。『自主・自立・共働・共助』の基本理念に基づき、全会員が一つとなつて力をあわせ、心新たに努力していきたい」とあいさつ。中山市長をはじめ、龍村厚生労働省京都労働局職業安定部職業対策

役員のみなさん
(敬称略・順不同)

理事長	野村 弘和	峰山町御旅
副理事長	梅田耕之助	網野町浅茂川
専務理事	家谷 均	峰山町菅
理事	松田 輝雄	峰山町新町
理事	岸田 和夫	峰山町五箇
理事	小森さとみ	峰山町石丸
理事	大同 邦夫	大宮町奥大野
理事	上田 重和	大宮町河辺
理事	小国 悦子	大宮町口大野
理事	高山 文子	網野町下岡
理事	高田 誠一	網野町浜詰
理事	木本 定治	丹後町大山
理事	佐々木公豊	丹後町上野
理事	坪倉 忠世	弥栄町堤
理事	川岸 民雄	久美浜町金谷
理事	西垣 義一	久美浜町
理事	岩瀬八重子	久美浜町新庄
理事	川口 毅	久美浜町老分
監事	永岡 正	峰山町丹波
監事	藤村 彌市	弥栄町芋野

初期消火には 消火器が一番!

消火器は、石油ストーブや油鍋に火が入った場合など、直接水をかけられないような場合、特に効果があります。

また、消火器には白・黄・青色のマークで、適応性表示がされています。ご家庭の消火器を一度確認してください。



水 と **油**

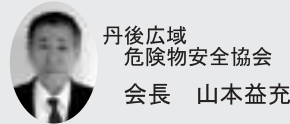
どんな火災でも、水をかければ火を消せると思つたら大きな間違いです。天ぷら鍋やストープ、電気器具の火災に水を使用すると、油が飛び散り火災が拡大する危険性や、電気での感電の危険性があります。特に、天ぷら油が発火して鍋に水を注ぐと、急激に大量の水蒸気が発生して発火した油が飛び散り、火災を拡大させるだけでなくやけどをする危険性が高くなります。



燃焼する天ぷら鍋に水をかけた瞬間

いざという時に、あわてないうちで適切な消火方法ができるように心がけておくことが大切です。

ガソリンの購入と 運搬について



平成15年、名古屋市内のビルに男が立てこもり、ガソリンをまき散らした後、爆発炎上するという事件が発生し、ガソリンスタンドが18ℓのポリ容器にガソリンを詰め替えて販売したことが問題になりました。

ガソリンを運搬する容器は、消防法で金属容器とされています。また、みなさんがガソリンを乗用車などで運搬する場合には、22ℓ以下とされています。

ガソリンは、火がつきやすい大変危険な燃料で、全国では毎年何件も静電気による事故が発生しています。お客様の安全を守るため、私たちは消防法に適合していない容器での販売はできません。

ご理解ご協力をお願いします。



ガソリン専用容器

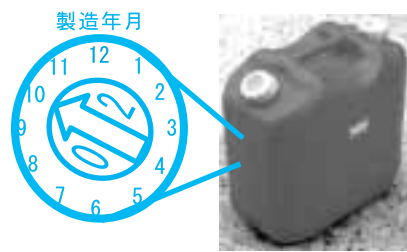
危険！ポリ容器には、絶対にガソリンを入れないでください。容器が侵され、変形や漏れの恐れがあります。

灯油は鮮度が一番

ポリエチレン製の灯油容器を、日光の当たる場所で保管すると、中に水滴がたまり、悪臭や燃焼不良の要因となります。

また、容器には、耐用年数があり、三年程度で劣化が進み強度が落ちます。日光が当たらない場合でも、五年を目安に取り替えることが安全です。定期的な点検を行ってください。

灯油の保管場所は、直接日光の当たる場所や火気の近くを心がけましょう。



*2002年10月の製造を示しています

は避け、他人が容易に持ち出しせない場所など、放火されない環境づくりも必要です。灯油は、「シーズン使い切り」



救命の連鎖



救急救命士 吉岡昌俊

救命のための、早く・無駄のない連携プレーを例えて「救命の連鎖」と呼んでいます。家族や友人が、目の前で倒れたとき、救命の鎖の最初の輪である「早い通報」、「早い応急手当」は、みなさんの手でつないでいただかないなりません。心肺蘇生法などの救命手当の仕方がわからないかたには、一九番通報時に指令室員が、電話口で救命手当の指導を行っています。

「早い通報」、「早い応急手当」、「早い救命処置」、「早い医療処置」、このような連携ができて初めて、人を救済することができるのです。

こんにちは、竹野川分遣所救急隊の吉岡です。今年の夏は、例年になく猛暑であり、体調管理には十分注意をされていたのではないのでしょうか。私たちはいつ、どこで、災害におそわれるのか予測がつかえません。急病や事故などで心臓が止まってしまうような一刻の猶予もない状態のとき、救急手当はもちろん、救急車をすぐに呼んで病院で高度な治療をうけることが必要です。



消防の広場

たんごの風 22号

—おちついて—

119

火災・救急・救助

代表 62-0119

総務課 62-8119 管理課 62-8129 予防課 62-5119



身近な危険物

危険物は、「化学物質」・「激しく燃える」といった印象から、特殊な用途だけに利用されていると思われがちですが、私たちの周りには日常生活で使用するさまざまな危険物があります。

ガソリン・灯油・軽油などの燃料類をはじめ、天ぷら油・マニキュア・除光液・ヘアースプレーなどの危険物を利用した製品は、私たちの生活の中ではなくてはならないものになっていきます。

危険物は、その取り扱いや保管方法によっては、危険性を高め、思わぬ災害に発展することになります。そのためにも、家庭にはどんな危険物があるのか、取り扱い方法は間違っていないか、しっかりと確かめて事故の防止に努める必要があります。



耐熱服

危険物火災、大規模火災などの強い放射熱の強い炎時に使用するもので、耐煙・耐熱性に優れており、およそ1200度の火災に4.0秒耐えることができます。

ちょっとした不注意からこんな事故も



こぼれたガソリンの可燃性蒸気に火が近づいた瞬間に引火した。



鉄棒に除光液を塗り、近くでライターを着火、可燃性蒸気に引火した。



ガソリンを誤給油した石油ストーブが異常燃焼し、炎が立ち上がった。

軽トラックで運搬中に

ガソリンをポリ容器に入れて軽トラックで運んでいたところ、容器が転倒し、漏れたガソリンが車のマフラーに接触し、火災となった。

除光液で

マニキュア(除光液)で爪の手入れ中、タバコを吸おうとライターで火を着けたため、除光液の可燃性蒸気に引火しやけどをした。

たばこの火から

農機具へ給油中、何気なく着けたたばこの火がガソリンの可燃性蒸気へ引火した。

ストーブにガソリンを

ガソリンをポリ容器で保管していたため、家族がガソリンだと気付かず給油し、石油ストーブが異常燃焼し火災となった。

スプレー缶から炎が

台所で、ガスコンロを使用中に、1メートルほど離れた場所で、スプレー缶を捨てるために穴を開けたところ、残っていたガスが噴出し、ガスコンロの火が引火した。

※燃焼実験には、耐熱服の着用など、十分な注意を行っています。火遊びなどは、絶対にやめてください。

※危険物とは 一般に危険物とは、引火性物質、爆発性物質、毒劇物あるいは放射性物質など危険性のある物質を総称することが多く、これらの物質は、その貯蔵や取り扱いなどにおける安全確保のため、さまざまな法令(消防法、毒物及び劇物取締法、火薬類取締法等)により保安規制が行われています。

あなたの声を市政に ご意見箱

市では、各庁舎などに「ご意見箱」を設置し市民のみならずから広く、ご意見をお聞きすることとしています。
いただいたご意見の一部と市での考え方についてご紹介いたします。
なお、紙面の都合で、ご意見などを一部割愛していますのでご了承ください。

定住外国人への 参政権の付与について

市のホームページに投書いただいたものも含め、「ご意見箱」へのご意見について、一つひとつのご意見の内容に重複する内容があったため、それぞれのご意見を要約するのではなく、含まれる内容を簡潔書きとしました。

意見の主な内容

○一地方自治体の問題ではなく、日本の根幹、日本国民全体にかかわる問題、憲法で規定

する「国民主権」を放棄することになる。

○外国人が税金を支払うことはライフラインや行政に対する対価であり、選挙権を与えるのは別問題。納税を免除されている人には選挙権が発生しないのか、そうならば弱者を切り捨てることにならないか。例え日本国民であっても、税金を納めていない人間には選挙権を与えないということか。そうならば選挙権はいろいろなから、税金を納めるものもやめる、ということも通用するということか。

○反日意識、日本人拉致問題がある中でなぜ今か。
○外国人は最終的には母国の国益を考えて行動するのではないか。日本と外国では文化や考え方に相容れないものもある。日本にはあまり愛国心という概念はないが、他の国では自分の国を愛するという考え方が根本にある。日本よりも自分の国に愛着があるのにも関わらず、参政権を与えてしまうと、元から住んでいる人々が住みにくい場所となってしまうのではないか。
○韓国では最高裁判決で外国人の参政権が完全に否決され

た。国家間相互主義があつて認められるものであり、日本だけが実施することは安全保障上好ましくない。

○在日外国人が異例の待遇を受けることで、彼らへのネガティブなイメージが日本人の中に芽生えかねない。日本人と外国人の対立を招く恐れがある。

○定住外国人に権利を与えるのは、彼らの立場を中途半端に確立してしまうということであり、彼らの尊厳を傷つけるものである。外国人であれば自国から与えられた自国の義務や権利に誇りを持っているだろうし、もし日本で権利を得たいのであれば国籍を取得して日本国民として義務を果たしたいと思うのが普通の人間だと思う。

○集団移住により、市政に対して外国人の意見が多数を占め、市政を支配することも可能になる。外国人犯罪者が多いことも含めれば、国として国民の安全を脅かす行為である。ハワイがアメリカ人の移民に対して、参政権を付与した結果、アメリカの州となった。○日本を外国人に売り渡す永

住外国人の参政権付与に断固抗議。選挙権はもとより被選挙権まで与えると、合法的に乗っ取りが行われる危険がある。

○参政権の件については、気持ちや心情的にはわかるが、国においても大きな課題がある中で、もっと慎重にすべき。国や府、専門機関で意見を述べるなど手続きを踏むべき。
○国民の議論が深まっている。

○外国での制度の状況においては、EUは既に外国人の参政権が認められているが、これは、終局的に緩やかな連邦国家を目指しているためであり、日本においては、状況が違

お答え

共生社会の創造に貢献

現在、京丹後市には約五百人以上の外国人が住んでおられ、そのうち永住権を取得しておられるかたは、百八十六人(特別永住者百三十九人、一般永住者四十七人)となっております。(※一)
当市は、豊かな自然環境を活かしながら、市民の一人ひとりをかけがえのないものと

地方参政権のみ付与

この中で、「参政権」については、地方参政権(特区であり、市内に限られることから、市長、市議会議員についての選挙権)付与に限るものであり、国政への参政権の付与について提案するものではありません。(国政参政権については、

当然、日本国籍を持つ国民に限られ、また、そうあるべきです。

被選挙権は見送り

また、「被選挙権」については、今回多くのご指摘をいただきましたように、「選挙権」だけ付与することでも強い反対の声があり、特区提案とはいえ、国民の間で議論が十分に熟しきっていないと思われることや、参政権の付与は、憲法上禁止されていないものと判示された最高裁判決(平成七年二月二十八日)でも直接言及しているのは「選挙権」についてであることなどから、今回本市の特区提案については、「選挙権」の付与のみを求める内容とし、「被選挙権」の付与については、選挙権をめぐる状況の推移を見守りながら、将来の課題とすべきだと考えています。

反対意見真しに受け止め

本件については、地方参政権に関する案件であるとはいえ、基本的人権の柱の一つである選挙権をめぐる案件であり、民主主義の根幹にかかわる問題です。そのため、直接には一市政の問題ではありませんが、反対のお立場から厳しいご



今年5月に行われた市長・市議会議員選挙の投票の様子

批判があることもしっかりと受け止めないといけないと思っております。

他方で、「構造改革特区」の制度は、まさに、「特定の地域に限らず全国一律に制度改革を行うことが難しい課題について、地域を限って実験的・先行的に実施させ、その効果をうらなう。そして、その制度改革を地域を限らずに展開するかどうかはその成否をみて改めて判断する」との趣旨から設けられた仕組みです。そこで、当市では、この特区制度の趣旨を活かし、また同時に、「ご指摘いただいたようなご懸念(支配する目的での集団的編入など)については、特区としての選挙権付与と制度を構築する過程において、制度

的な工夫、担保を、永住者住民のご理解も得ながら、知恵を絞って同時に講じるとともに、本件について特区の創設がでないか提案したいと考えています。併せて、この間、ご指摘いただきました点につきましては、以下のとおり考えるものです。市民、国民の皆様におかれましては、本件提案の趣旨についてご理解をいただきますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

憲法との関係について

最高裁判決(平成七年二月二十八日)において「我が国に在留する外国人のうちでも永住者等であつてその居住する区域の地方公共団体と特段に密接な関係を持つに至ったと認められるものについて、その意思を日常生活に密接な関連を有する地方公共団体の公共的事務の処理に反映させるべく、法律をもって、地方公共団体の長、その議会の議員等に対する選挙権を付与する措置を講ずることは、憲法上禁止されているものではないと解するものが相当である」と判示されており、「もっぱら国の立法政策にかかわる事項である

とされています。今回の提案については、地域を限定する特区制度によるものであるとしても、国会による立法措置がなされることが必要であると考えます。立法措置がなされれば憲法上は問題ないと認識しています。

国籍取得、相互主義について

いくつかの国では、一定の条件の下で、旧来の母国籍を離脱することなくいわゆる二重国籍が認められていますが、我が国は二重国籍を認めていません。(注)それに全く異論はありません。

また、近隣のアジア諸国では、儒教の精神が相応に強い土地柄もあり、国や祖先、親や家族を想う心が伝統的に強いことから、たとえ将来日本に居住し、日本をも愛し永住する意思があるかたとしても、旧来の母国へのアイデンティティ、母国籍はそう簡単に離脱できない場合があるということも、相応に理解が可能です。例えば、戦前の移住により日本に住み、戦後、本人の意思にかかわらず法的・一律的に国籍離脱の扱いとされた方々、日本で生まれ育ち、子をもうけ、生活を営み、骨を埋めていく、

日本の中で運命をともにしようとするような方々については、仮にどうしても母国籍離脱までできなくても、法制度上許容できる限りにおいて、そして、国家、国権にかかる安寧秩序の維持に妨げがない限りにおいて、日本人市民と同様の扱いをさせていただくのが適切ではないかと思っております。(なお、その場合でも、本人の意思を確かめるための仕組み(申請主義等)が必要だと考えています)

特区認定地域への支配する目的での集団的編入など

本件提案の趣旨は、永住外国人の方々の地方住民としての住民福祉の向上に寄与する

とともに、それを通じて、地域において、永住外国人市民、日本人市民も含めた地方社会全体の、魂の触れ合うような一層の住民福祉の向上につなげていきたいとの衷心の願いから発するものです。この点、今回提案に係る特区制度に利して、たとえ仮の設定であったとしても、ご指摘にありましたような、日本の国権に直接影響を及ぼすことを目的とする集团的、支配的な制度利用があつてはなりません。このことに関しては、特区としての選挙権付与制度を構築する中で、永住者住民の方々のご理解も得ながら、必要があれば、例えば、(いわゆる「選挙人名簿登録申請主義」を前提とした上で)万が一にも懸念の事態が生じた場合に限った、ゆかりのない遠方地などからの住所編入に関する選挙人登録停止措置の留保等、必要最小限の制度的担保により改善の工夫ができないか、検討していくことも必要ではないかと考えています。

※1
・特別永住者(戦前の旧植民地出身者で戦前から日本に居住する者及び終戦から平和条約施行日(一九五二年四月二十八日)までに日本で出生した者並びにこれらの者の子孫)百三十九人(韓国百三十六人、北朝鮮三人)
・一般永住者四十七人(フィリピン二十九人、韓国十二人、中国四人、アメリカ一人、フランス一人)
※2
諸外国において在・当該国外国人の参政権(地方レベル)を認めているケース
○EU諸国
・アイルランド、スウェーデン、デンマーク、フィンランド、オランダ(以上、前提として基本的に一定年数以上合法的存在等であることが必要)
・このほか、EU市民を対象として地方参政権を付与している国々(フランス、ドイツ、イタリア等)あり。
○EU諸国以外
・ニュージーランド、ノルウェー、ハンガリー、ベネズエラ(ノルウェー以外は選挙権のみ。以上、前提として基本的に一定年数以上合法的存在等であることが必要)
(平成十二年三月現在、国立国会図書館調べ)

【参考】
○地方公共団体による「永住外国人への地方参政権付与を求める意見書」：千五百十九の地方公共団体(全国三千三百二地方公共団体のうち)
○世論調査
・読売新聞全国世論調査(平成十一年三月)賛成六五・五％、反対二四・五％
・日経新聞全国世論調査(平成十二年五月)賛成四七・九％、反対二一・四％
・毎日新聞全国世論調査(平成十二年十月)賛成五八％、反対二八％
【参考】は平成十六年四月「在日本大韓国民団資料」から抜粋

市長との直接対話

市長は、各地域に出向いて住民の声を直接聞きたいと、「現場第一」「市民の目線」で行政を進めると、市民の喝采を浴びて当選されました。それ以降、確力にお忙しいでしょうが、このことに関する動き、情報などは市民に伝わっておりません。

市長には、ありのままの京丹後市内の現状や小さな意見を聞いていただくことが、市政運営の大きなヒントになるのではないのでしょうか。

これだけ、財政がピンチで、市民のささやかな生活関連事業までもが以前から比べると減少しているとのうわさも聞きます。一方で、大きな金額の事業の話や、「議員ばかりよいおもいをしている」などの話もささやかれます。市民の知らないところで政策が行われているとの疑念を晴らすためにも、早く、地域を回られて市民の声を聞く機会をつくられることを要望します。

市民の声を聞く、といっても任期中の四年間に一度くらいしかできないと思います。早い程よいと思います。

(市内在住)

市では、開かれた行政の実現、市民のみなさんが自由闊達にご意見、ご提案、評価をしていただくような市民本意、市民起点の行政を築くことを目標としています。

その一環として、市民のみなさんに行政を身近に感じていただくこと、市長が大宮、網野、丹後、弥栄、久美浜の各庁舎



八月から各庁舎窓口などに設置した「意見箱」。
九月末までに約六十件のご意見をいただきました。

で執務を行う「移動市長室」を行いました。第一回目として、八月二日から九月三日までの約一か月間にわたり、五つの庁舎で一週間ずつ市長が執務を行うとともに、管内の視察や各種団体のかたと面談などを行いました。

この「移動市長室」は、年度内にあと二回行う計画で、二回目の「移動市長室」を十月二十五日から行っています。

今回の「移動市長室」では、市民のかたと直接お話しする機会として、「開放市長室」を設けています。「開放市長室」の詳しい内容などについては、十月八日発行の「きょうたんご」おしらせ版第十三号をご覧ください。

また、八月から、市政や行政

運営に対して、市民のみなさんからのご意見やご提案を積極的に反映するため「ご意見箱」を市民局と病院の計八か所に設置しています。

市民のかたと直接お話しする機会につきましては、移動市長室などを行う中で積極的に対応していきたいと考えていますので、どうぞよろしくお願ひします。

ホームヘルパー資格取得講座の開催

ヘルパー二級の資格を取りたいのですが、京丹後市内で講座を開いていただきたいです。

【秘書広報課】

(市内・女性)

ホームヘルパー(訪問介護員)の資格取得講座については、法令に基づいて都道府県知事の指定を受けた事業者のみが開設できます。過去には、介護サービスを提供するための人材を確保する必要もあり、市町村においても介護保険導入前の一時期、講座が開設されたことがあります。しかし、現在においては、民間の指定事業者による講座や、通信教育

による講座も普及してきており、それらへの配慮も必要です。今、このところ市として直接に講座を行う予定はありません。

なお、近隣で講座を行っている民間事業者などに対して、京丹後市民に市内での受講希望があることなどをきちんとお伝えしたいと思います。また、これに関連して、家族を介する方などがホームヘルパー2級または3級の資格取得のための研修を受講される場合に、二万円を限度に補助金を交付する支援制度を設けていますので高齢者福祉課(☎六九一〇三三〇)にお問い合せください。

【高齢者福祉課】

魅力ある広報紙の作成

最近の広報はあまりひきつける物がない様な気がします。地域が広くなつたので仕方がないかもしれませんが、一つひとつのスポットもどうでもいよいよなシヨットだったり…。前はもつと充実していたように思えます。

現在、広報紙の作成は二人体制で行っています。

(網野町在住)



月1回発行の「広報きょうたんご」

合併により市域が広がったため、市民のみなさんに市としての一体感を高めていただくこと、各地域で行われている行事などを積極的に紹介しています。また、合併して間もないため、新しい市政の情報も掲載していく必要がありま

す。限られたページの中で、より多くの情報を掲載しようとするため、ご意見のように雑誌で読みづらい紙面構成に感じられているのではと思

います。広報紙は、市民のみなさんと市政を結ぶ大切なパイプ役であることを踏まえ、地域の特色ある話題を紹介し、市としての一体感を醸成を図り、読みやすく充実した紙面づくりに、なお一層、努めていきたいと考えます。

人事、合併調整

【秘書広報課】

(市内・男性)

また、合併によって各種施策の実施方法などが変更になっていきます。市民のみなさんに混乱のないよう、各種施策をわかりやすく紹介しながら、京丹後市の市政についてお知らせしていきたいと思

います。今後とも率直なご意見をお聞かせください。

新制市の舵取り、大変ご苦労さまです。

市の財政がないと聞きます。さて、市になつて、夫婦で勤務している職員、親子で勤務している職員、職種はどうであれ、どちらか辞めてください。事務と保育士、事務職同士など、当人たちはよくても客観的によくないです。

リストラの人、倒産の人があります。しかし、市職員には危機感がありません。他の人が働ける機会でもあり、一つの公営企業です。

首切りはできないが、勇退というところで片方は辞めてほしい。人件費を抑えることに

もなります。

町と市との区別もできない

馴れ合いのうえでの事業、人事、職員保障などになっています。全て条件に相違があり調整ができたというものの、異質が同じだけで、公平性、客観的要素に欠如しているようにみえます。

□では、きれいごとが言えます。六頭のオコ子であり、誠実に清潔感があるようなことにしてあげてください。

(市内・男性)

夫婦や親子で勤務している職員であっても、その一人ひとりが地方公務員です。夫婦や親子が同一の地方公共団体の中で共に勤務してはならないというルールがない以上、それ以上の理由もないままに勇退などを働きかけることはできません。ただし、ご指摘のように「馴れ合い」「危機感がない」と誤解されることがありませんよう、地方公務員の給与が地域住民の租税負担でまかなわれていることを強く職員めいめいの心に刻み、今後一層、職員一人ひとりが新しい京丹後市のまちづくりに向けて努力してまいりますので、よろしくご理解をお願いします。

【職員課】

応援背に受けたきょうたんご

丹後ブロック中学駅伝

十月十六日、「第十四回丹後ブロック中学校駅伝競走大会」が途中ヶ丘運動公園を発着点とするコース（男子六区間十八時・女子五区間十二時）で行われました。

この大会は、丹後・与謝地域にある中学校から十八校が参加し毎年行われているもの。当日は、駅伝には少し高めの気温となりましたが、選手は沿道に集まった保護者やチームメイトの応援を背に受け、懸命に走ってたすきをつなぎました。

レースの結果、男子は、弥栄中学校が、また女子は高龍



「たのんだぞ」とたすきをつなぎ選手たち

中学校が優勝し、両部門とも市内の中学校となりました。女子の部優勝の高龍中学校は、一区で三位とやや出遅れたものの、徐々にばん回し、最終の五区で逆転。四十四分四十秒の記録で十一年ぶりの栄冠に輝きました。

一方、男子の部優勝の弥栄中学校は、一区こそ六位と出遅れたものの、二区で逆転し首位に立つとそのまま独走。二位以下に一分以上の大差をつけ、五十八分三十三秒の大会新記録で第七回大会以来となる優勝を勝ち取りました。

成績

男子の部		女子の部	
1 弥栄中学校	0時間58分33秒	1 高龍中学校	44分40秒
2 高龍中学校	0時間59分45秒	2 網野中学校	44分48秒
3 江陽中学校	0時間59分54秒	3 橋立中学校	44分51秒
4 久美浜中学校	1時間00分01秒	4 江陽中学校	45分07秒
5 加悦中学校	1時間00分09秒	5 大宮中学校	45分53秒
6 間人中学校	1時間01分07秒	6 加悦中学校	46分03秒
7 網野中学校	1時間01分45秒	7 宮津中学校	46分22秒
8 橋立中学校	1時間02分07秒	8 栗田中学校	48分15秒
9 橋中学校	1時間03分12秒	9 橋中学校	48分30秒
10 峰山中学校	1時間03分21秒	10 弥栄中学校	48分42秒
11 宮津中学校	1時間03分54秒	11 間人中学校	49分01秒
12 栗田中学校	1時間04分32秒	12 伊根中学校	49分23秒
13 本庄中学校	1時間04分40秒	13 峰山中学校	50分35秒
14 養老中学校	1時間06分23秒	14 宇川中学校	50分48秒
15 大宮中学校	1時間06分51秒	15 久美浜中学校	51分32秒
16 伊根中学校	1時間07分32秒	16 養老中学校	54分31秒
17 宇川中学校	1時間08分08秒	17 本庄中学校	56分09秒
18 日置中学校	1時間09分09秒	18 日置中学校	56分56秒

公的年金は、現役世代が高齢者世代の生活を支える「世代間扶養」のしくみです。また、やがて訪れる長い老後の生活を安心して過ごすための大きな支えとなるものです。

国民年金の給付には、老後の生活保障である老齢基礎年金のほか、障害基礎年金などがあります。保険料を納めなければこのような年金給付を受けられないことがあります。

また、納付期限から二年を経過すると保険料を納付することができなくなるため、受給する年金額が少なくなったりする場合があります。

なお、「重度障害者特別給付金」の受給には、身体障害者手帳（一級、二級）、療育手帳（A判定）が必要で、支給額は月額五千元（障害者のかたは月額一万八千元）です。

府では、府内在住で、日本国籍を有しないため、国民年金に加入することができなかつた高齢の外国籍のかたで、支給条件に該当するかたに「京都府在日外国人高齢者・重度障害者特別給付金」を支給しています。

対象者は、大正十五年（一九二六年）四月一日以前に生まれ、昭和五十七年一月一日以前から日本国内で外国人登録を行っているかたで、現在、京都府内で永住、または特別永住許可で、外国人登録を行っているかたです。

保険料はきちんと納めておきましょう

子どもの無病願い奉納相撲

自分の名前を「しんま」に



一番ごとに熱戦が繰り広げられました

九月二十七日、磯辺神社（久美浜町十楽）で、地区と公民館の共催で奉納相撲大会が開かれました。

この奉納相撲は、天保年間（一八三〇～一八六〇）に病気で大勢の幼児が亡くなったため、親たちが磯辺神社に子ども相撲を奉納し無病を祈ったことが始まりといわれています。

社会福祉法人久美の浜福祉会（片山茂理事長）が、旧久美浜共同作業所（久美浜町竹藤）を改修して整備を進めていた精神障害者小規模通所授産施設「つばさ」が完成。



施設内に設けられた豆腐製造室

十月五日には竣工式が行われ、関係者など約百二十人が精神障害者を支援する拠点施設の完成を祝いました。

施設は、木造二階建ての旧佐濃北小学校の校舎と体育館を改築。延床面積約八百六十平方メートル、豆腐製造室や体育館、食堂などがあります。総事業費は約三千六百万円。現在の利用者は十一人で、これまで久美浜共同作業所が行っていた資源回収のほか、地元産大豆で作る豆腐の販売などを行うことと

式では、同法人の片山理事長が「安心して生涯、働くことのできる場にした」とあいさつ。通所者を代表して田中鎮夫さんが「地域のみなさんに喜んでもらえるような豆腐をつくり活性化につなげたい」と感謝の言葉を述べました。また、近隣の九施設の通所者からお祝いの品が贈られるなどして施設の完成を祝いました。

精神障害者通所施設が完成

障害者福祉の拠点に

施設は、木造二階建ての旧佐濃北小学校の校舎と体育館を改築。延床面積約八百六十平方メートル、豆腐製造室や体育館、食堂などがあります。総事業費は約三千六百万円。現在の利用者は十一人で、これまで久美浜共同作業所が行っていた資源回収のほか、地元産大豆で作る豆腐の販売などを行うことと

式では、同法人の片山理事長が「安心して生涯、働くことのできる場にした」とあいさつ。通所者を代表して田中鎮夫さんが「地域のみなさんに喜んでもらえるような豆腐をつくり活性化につなげたい」と感謝の言葉を述べました。また、近隣の九施設の通所者からお祝いの品が贈られるなどして施設の完成を祝いました。



「少しでも長く」と悪戦苦闘する参加者

果実の里をPR

クイズや皮むき競争も

十月十七日、「第三回果実祭」が久美浜温泉（久美浜町平田）駐車場で開催されました。

このイベントは、久美浜町果樹観光協会（米田豊会長）が、果実の里のPRと消費者への感謝を込めて三年前から行っているもの。当日は、絶好の行楽日和となり、会場には、梨やブドウなど、ジュシーなくだものをはじめ、新

消費生活ミニ講座

第4回

知っていますか、「クーリングオフ」の仕方？

消費者のかたが、訪問販売などにより契約（申し込み）をした場合でも、契約書面などを受け取った日を含めて8日以内（マルチ商法や内職、モニター商法は20日以内）であれば、書面によって申し込みの撤回または契約の解除を通知することにより、無条件で契約を白紙に戻すことができます。これを「頭を冷やして考える期間を置く」という意味で、「クーリングオフ制度」といいます。

◆クーリングオフができる場合と期間

名称	内容	期間
訪問販売	訪問販売、キャッチセールス、アポイントメントセールスなど	8日
電話勧誘販売	電話などで勧誘し、申し込みを取る販売	8日
連鎖販売取引 (マルチ商法)	個人を販売員として勧誘し、さらに次の販売員を勧誘すれば収入が得られると言って、連鎖的に販売組織を拡大する取引	20日
特定継続的役務提供	身体の美化、知識の向上などを目的として、継続的に役務を提供する取引（エステ、語学教室、家庭教師、学習塾、パソコン教室、結婚相手紹介サービスなど）	8日
業務提供誘引販売 (内職・モニター商法)	仕事を提供するので収入が得られると勧誘し、仕事に必要であると商品などを売り、金銭負担を負わせる取引	20日

◆クーリングオフができない場合

- 価格が3,000円以下のものを買った場合
- 化粧品などの消耗品の一部を使った場合
(布団、学習教材、下着などは消耗品ではありません)
- 乗用自動車を買った場合
- 法律で、クーリングオフが認められていない商品・役務（サービス）を買った場合
- 通信販売で買った場合

◆クーリングオフの効果

- 支払ったお金は全額返金されます。
- 商品の引き取り料金は業者負担で、損害賠償や違約金を支払う必要もありません。



◆クーリングオフのはがきの書き方（例）

● 申込（契約日）平成〇年〇月〇日
 ● 販売会社（店）名
 ● 商品および金額
 ● 担当者名
 右記の日付の申し込みを撤回
 （または契約を解除）します。
 なお既支払額の〇〇円を返金し、
 商品を引き取ってください。
 平成〇年〇月〇日

住所
氏名

※はがきの両面をコピーして、配達記録郵便または簡易書留、内容証明郵便で出し、郵便受領書と一緒に保管しましょう。

相談窓口

京都府消費者科学センター（☎075-821-0210）
 京都府丹後広域振興局商工観光室（☎62-4304）
 京丹後市役所商工振興課（☎69-0440）または市民局地域事業課

農家のみなさん

京丹後農業振興地域整備計画を策定します！

市では、6町の合併に伴い、「農業振興地域整備計画」（農振計画）の策定を予定しています。今回の計画策定は、旧町で実施していた、いわゆる“農振計画の見直し”の性格を有するものです。今後の京丹後市の農業振興を図るうえでの基本計画となりますので、各集落における農振基本計画の策定にご協力ください。

集落基本計画の策定について

各集落の集落推進委員さん（区長さんまたは役員さんなど）を中心に、平成17年1月から平成17年4月までの間に、各集落における今後の農業振興の基本計画や、農用地の利用計画についてご検討いただき、その検討内容を参考に市の計画を策定します。

農用地の利用計画について

農業振興の基本計画をふまえて、優良農地の確保および農地の効率的な利用・集団化などを考慮しながら、大きくわけて次の2点について、集落推進委員さんを中心に各集落で検討していただきます。除外や編入などについては、集落推進委員さんに申し出ていただくこととなりますが、その期限については別途広報します。「自分の経営する田や畑などの将来的な利用」についてよくお考えください。

検討項目〈農地の活用〉

- ①今後も農業用の土地として利用する
- ②現在は農地であるが、将来は農地以外の目的（例えば宅地）に利用する

※なお、個人による変更希望については、土地利用の混在が生じ、農地の集団化に悪影響を及ぼす可能性がありますので、市では受け付けません。



現計画の変更申請の締め切りについて

上記の農振計画策定作業の開始に伴い、現在の旧町農振計画の一部除外・編入などの変更申請を締め切ります。ただし、緊急を要するものについては、平成17年1月末までに市民局地域事業課へお申し出ください。申請される場合は、必ず集落推進委員さんと相談し、集落基本計画の策定作業に影響が出ないようにしてください。なお、緊急を要しない場合は、京丹後農業振興地域整備計画の策定（平成18年8月ごろ）までお待ちください。

ご協力をお願いします

市外在住の農地所有者すべてのかたに、本件についてお知らせすることができませんので、耕作者など関係するかたからお伝えいただきますようご協力をお願いします。

農業振興課（☎0772-69-0410・Fax0772-64-5660）

ハートフルトーク 人権のつどい

入場無料

笑いと情けが 人の輪を広げる


その人が語ることばには、強くてやさしい力があります

日時 **11月26日(金) 19:20~21:00ごろ**

場所 **アミティ丹後 2階 多目的ホール**

講演・落語 **林家染二さん**

ことばが笑顔でゆったり、そして心がほっこり。たった一度の出会いで覚えられてしまう人はいる。林家染二さんの高座をみれば、まず忘れない！！その人が語ることばには、強くてやさしい力があります。



京丹後市の文化財 六

久美浜町 函石浜遺跡

久美浜町湊宮小字箱石の函石浜遺跡は、大正九年に発刊された『京都府史跡勝地調査報告』によると、明治二十年ごろから、その存在が知られていたことがわかります。最初に発見したのは、「豪商稲葉本家」で知られる第十二代稲葉市郎右衛門の弟にあたる稲葉宅蔵さん（東園）です。稲葉さんと織田幾次郎さんにより資料が表面採集され、その後京都帝国大学（現在の京大）へ寄贈されたようです。遺跡は、採集された資料の種類から、「鉄山」、「貝塚」、「石原」、「人形ヶ岡」、「骨山」、「製造場」、「白石」、「新開場」にわけられるようです。採集資料の内容から、地区ごとにその性格が異なるようです。『報告書』の採集資料をご紹介します。

採集資料には、粘土を焼いてつくられたうつわ（土器）、石でつくられた道具類（石器）、装飾品として使われた玉類や銅でつくられたお金（銅銭）・やじり（銅鏝）などがあります。

土器は、縄文土器、弥生土器、土師器（はじき）や中世の青磁。石器は、やじり（石鏝・せきぞく）、網のおもりに使われた石（石錘・せきすい）、石剣・砥石（といし）など。玉類は、勾玉（まがたま）・管玉（くだたま）があります。管玉の中には、製作途中のものがあり、遺跡内で玉の製作を行っていたことがわかります。このほか装飾品には、貝を用いてつくられたものもあるようです。

銅でつくられたやじり（銅鏝・どろぞく）は、三角形の底辺にえぐりが入ったものや、この部分から棒状のびるもの、細長い棒状のものがあるようです。やじりには、銅のほかに鉄でつくられたやじり（鉄鏝・てつぞく）も含まれています。

銅でつくられたお金（銅銭）には、平安時代に日本でつくられたお金や、中国でつくられて中世日本で使われたお金もあります。これに加えて重要な資料として、「貨泉（かせん）」があります。

貨泉は、中国で西暦八〜二三年に十五年間だけあった「新」という国で、西暦一四年に発行されたお金です。丹後地域では弥生時代後期にあり、ガラスのネックレスを身につけた人々が山の上にお墓を造っていた時代です。青いガラスも海を越えてもたらされたと考えられますが、函石浜遺跡の貨泉も、中国から海を越えてもたらされた資料として評価できます。

このようなことから、大正十三年三月三日に、国の史跡指定を受けています。なお、遺跡の内容については、古い時代の調査のため不明な点が多くあり、採集された資料の調査や評価を含めて課題を残しています。



函石浜遺跡の現状

市立図書館 ご案内

大宮図書室

ボランティアグループのみなさんによる「読み聞かせ」を、毎月第2火曜日の10:30から、絵本コーナーで行っていますので、ぜひお越しください。

大型絵本や紙芝居などのほか、その場でのリクエストにより絵本を読むなど、アットホームな雰囲気の中で行っています。また、学童保育のみなさんには、司書による「読み聞かせ」を行っています。ボランティア活動についてのご質問や、図書室へのご希望などがあれば、大宮図書室（☎69-0672）へご連絡ください。


休室日に来られたみなさんへ
返却箱をつくりました。月曜日の休室日（祝日を除きます）に限り、アグリセンター大宮2階の事務室の前に返却箱を置きますので、借りたかたの名前を書いた紙をはさんで返却箱にお返しください。夏休みに借りた図書室の本が、部屋の片隅に隠れていませんか？

峰山図書館

読書の秋を迎え、図書館は多くの利用者でにぎわっています。また、小学校でも「秋の読書旬間」がはじまり、日ごろにも増して読書活動への取り組みが盛んに行われています。

峰山図書館では、職員と読み聞かせボランティアのかたがいつしよに、小・中学校への読み聞かせ訪問を実施しています。本の面白さを伝えるため、絵本の読み聞かせやブックトーク、ストーリーテリングなどを組み入れて行っています。

ストーリーテリングとは、子どもたちに絵や本を見せずにお話を語ることです。子どもたちは、お話の内容を絵に頼ることなく、想像することで楽しいお話の世界へと入っていきます。また、何度もお話を聞くうちに、言葉のもつ意味を理解し、物事を想像する力も育んでいきます。



ストーリーテリングを 熱心に聞く子どもたち

弥栄図書室

4月号から、児童向け月刊雑誌を定期購読しています。

- おはなしひかりのくに ○オールリクエスト
- こどもとしぜん ○プチパオ

一般向けの雑誌は、6月号から次の6種類を定期購読しています。

- 美しい部屋 ○エッセ ○きょうの健康
- 現代農業 ○主婦の友 ○趣味の園芸
- ※9月号から ○おしゃれ工房 ○きょうの料理が加わりました。

11月の行事のお知らせ

「絵本フェスティバル」（弥栄町青少年をそだてる会主催）

- 日時 11月13日(土) 14:00~
- 場所 弥栄地域公民館
- ※13:15から20分間、サークル「虹色のたね」による読み聞かせを行います。
- お誘い合わせのうえ、多数ご来場ください。

利用者の声

「休日は図書館へ」 深沢 文子さん（峰山町杉谷）

知っている場所、知らない場所、行ってみたいページを繰る。昔読んだあの本、続刊があったんだ。彼は元気だろうか。懐かしい。本の中ならどこでもいける。ただ踏み出せばいい。迷ったときは聞けばいい。図書館には司書さんたちがいる。あの時読みたかったんだけど…。そう思う本があるなら、次の休日に図書館で聞いてみよう。私はいつもそうしている。

活気みなぎる 秋祭りにまやがに

台風と低気圧の影響であいにく空模様となった十月九日・十日の二日間、市内各地で「秋祭り」が行われ、笛や太鼓が鳴り響く中、町中が熱気に包まれました。

網野町の下岡地区では、十月九日、伝統芸能の「三番叟（さんばそう）」が三十四年ぶりに披露され、住民が待望の復活を喜びました。

三番叟は、豊作などを祝い百年以上前から続いていましたが、青年団がなくなっただけでなく、三十四年前に中断。平成二年に台風で倒壊した「六（ろく）神社」（網野町下岡）のお宮を再建した落成祝いに一度奉納されたものの、秋祭りでは途絶えていました。

地区では、昨年から伝統芸能の復活について相談を始め、今春、有志により三番叟保存会（松本和明会長・三十人）を発足。中学生から四十代までの年齢もさまざまなメンバーが、週一回のペースで経験者から、舞や笛、

幽玄な舞の復活に

大きな拍手が贈られました



太鼓などを一から教わりました。

この日は、あいにくの天気のため、六神社での奉納は中止となったものの、二か所で計三回にわたって披露。

午後三時から下岡公会堂で開かれた披露会では、当時のままの衣装で、笛や鼓にあわせ、顔を白く塗った踊り手が伝統の舞を披露すると、会場に集まった住民約百五十人からは、待望の復活に大きな拍手が贈られました。



溝谷太鼓（弥栄町溝谷）



金刀比羅山屋台（峰山町泉）



筧ばやし（大宮町周枳）



間人けんか屋台（丹後町間人）



神谷太刀宮秋祭り（久美浜町）

広報10月号の3頁、大宮南保育所の住所「口大野」は「周枳」の誤りでした。訂正してお詫びします。

人口のうごき

男	31,748人
女	34,403人
計	66,151人
世帯数	21,818

(10月1日現在)

発行／京丹後市役所 編集／秘書広報課
 〒627-8567 京都府京丹後市峰山町杉谷889
 ☎0772-69-0001 FAX0772-69-0901
 ホームページ <http://www.city.kyotango.kyoto.jp>
 E-mail hishokoho@city.kyotango.kyoto.jp